枚方市議会　６月定例月議会　**臨時的任用職員・非常勤職員の制度改正**

職員の担うべき役割を見極め、民間委託の推進や情報通信技術の活用を

地方公務員の臨時的任用職員・非常勤職員の新しい制度である「会計年度任用職員制度」が、来年４月より実施されることに伴い、枚方市でも条例の制定が必要とのことから、枚方市議会の６月定例月議会において「枚方市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定」「会計年度任用職員制度の導入に伴う関係条例の整備に関する条例の制定」の２議案について審議し、賛成多数で可決しました。

今回の制度改正に伴い、人件費が年間で約３億円増加する見込みとのことです。厳しい財政状況の中、健全な財政運営を行うためには、総人件費をできる限り抑制していく必要があります。

また、職員がより付加価値の高い市民サービスに注力できる環境を整えるためにも、職員が担うべき役割をしっかりと見極めた上で、定型業務の民間委託の推進をはじめ、ＡＩ、ＲＰＡ（ロボットによる業務自動化）などの情報通信技術を活用したスマート自治体への転換を、早急かつ着実に図るべきとの観点から、今回の議案に対して質疑をしました。今後も、効果的・効率的な行政運営を意識しながら、総人件費の抑制に向けて、様々な手法の導入について提言を行っていきます。

枚方市議会　文教常任委員会　**新香里ケ丘図書館への指定管理者制度導入について**

民間のノウハウを活用し、サービスの向上と効果的・効率的な運営を

私の所属する文教常任委員会が、6月 17 日に開催され、新香里ケ丘図書館への指定管理者制度導入についての条例改正案と、図書館の直営を求める請願の２件について審議し、条例の改正案については賛成多数で可決すべき、請願については反対多数で不採択とすべきとなりました。

私も疑問点を確認するため、請願者及び理事者に対して若干の質疑を行うとともに、最後に賛否の理由を明確にするため、討論をさせていただきました。

指定管理者制度は、民間事業者のノウハウを活用し、管理運営の効率化により市民サービスの向上を図る制度であり、枚方市立図書館においても既に６分館で導入されています。

制度の導入により、直営の時に比べて開館時間が 1.5 倍になり、全国的に展開している民間事業者のノウハウを生かした様々なイベントの開催や、新たな機器の導入、また市民の知的好奇心を刺激する取り組みなどにより、新たな利用者の獲得にもつながっています。

また、指定管理者制度の導入については、市議会においてもこれまでの経過の中で何度も議論が重ねられ、一定意思が示されてきました。

以上のことから、市民サービスをより向上させながら、継続性の高い図書館運営に取り組むとともに、地域の活性化・定住促進に寄与する運営に取り組んでもらうよう要望して、新香里ケ丘図書館への指定管理者制度の導入についての条例改正案には賛成、直営を求める請願については反対しました。